

令和6年度取組状況

ものづくり工学科 機械システム工学コース 教授 伊藤 幸弘

	取 組 状 況
教育	1. 工学実験実習における実習日誌作成能力の向上 第2 学年においては2年前から取り組み始め、今年度その学生達は第4学年になっている。今年度、その第4学年の実習担当者から、実習日誌の完成度が高いという具体的な評価を得て、取り組みの正しさを実感した。 2. 加工学における座学と実習の内容の紐づけ 加工実習では座学の基礎加工学の授業内容との紐づけを常に念頭においているが、学生授業評価アンケートにおいて「頭だけではなく感覚として覚えることができた」というコメントが得られ、取り組みの成果を実感した。
研究	1. 研究への取り組み 一昨年度に取得した特別研究期間制度を利用して取り組み始めた研究をまとめた研究論文(下記参照)を発表した。また、重点課題研究に採択された研究内容に取り組み、1件の口頭発表(下記参照)を行った。 2. 論文 ・ 金属積層法により製作した金型内部冷却管壁の電解仕上げの加工特性, 伊藤幸弘, 新郷晴紀, 国枝正典, 電気加工学会誌, 58巻, 149号, (2024), pp.75-82, doi:10.2526/jseme.58.75, 査読有 3. 学会発表 ・ 電解液ジェット付加加工による重ね合わせの原理を利用した非球面形状の造形, 川又元樹, 伊藤幸弘, 電気加工学会全国大会(2024)講演論文集, (2024.12), pp.97-98
社会貢献	1. 精密工学会会誌編集委員会幹事 2. 東京都職業能力開発協会技能検定委員 3. OPC主催講座ものづくり講座 4. OPC受託講座若手技術者支援講座